

# 道政だより

vol.7

## わたなべ靖司政務調査室

〒065-0024 札幌市東区北24条東9丁目1-31 しみきまビル1階  
TEL.011-750-1717 FAX.011-722-6677  
<https://watanabe-yasuji.jp/>



北海道議会議員(札幌市東区)

# わたなべ 靖司

## ごあいさつ

早いもので道議会議員の任期最終年度の後半を迎えました。私はこの4年間、新型コロナウイルス対策と社会経済の回復に取り組むとともに、地域課題の解決に力を尽くしてまいりました。この間の皆さまのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

世界的な感染症に加え、ロシアによるウクライナ侵攻など国際情勢が緊迫化する中、ウイズコロナに対応した取り組みを進めると同時に、アフターコロナを見据えた社会経済の構築、食料や経済も視野に入れた安全保障体制の確立が求められています。その鍵を握るのは、脱炭素社会の構築とデジタル化の実現です。私は北海道の価値をさらに高めるため、活力ある「森林づくり」による「ゼロカーボン北海道」の実現、そして本道の将来を担う子供たち一人ひとりに充実したデジタル環境を

用意する「GIGAスクール構想」の推進に、特に力を入れて取り組んでいます。

同時に、安心して暮らせる地域づくりにも全力を挙げています。昨冬のような大雪でも市民生活への影響を最小限にするための交通・除雪対策、子供たちが安心して学校に通えるための通学路の安全確保など、東区の皆さまの日常生活にかかわる地域課題の解決に真正面から取り組んでまいります。

北海道が日本の成長のエンジンとなり、本道の価値をますます高めるため、立ち止まることなく前進してまいります。さらなるご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

北海道議会議員 **渡邊 靖司**

## 活発で円滑な議論のための調整役! わたなべ靖司の道議会での役割 **その一部をご紹介します**

道議会には9つの常任委員会、7つの特別委員会、議会運営委員会が設置されています。常任委員会は道政上、特に重要な分野について専門的に調査するため常時設置されており、特別委員会は特定のテーマについて時限的に設けられています。議会運営委員会は道議会を円滑に運営するための調整役です。私は総務常任委員会、北方領土対策特別委員会の両方で理事を務め、議会運営委員会の委員でもあります。

### 本会議の進行など議会全体に関わる調整 (議会運営委員会)

各会派の代表で構成され、定員は14人。道議会最大会派の自民党会派からは委員長を筆頭に、私を含め8人が名を連ねています。



### 所属する委員会での調整 (総務常任委員会理事、北方領土対策特別委員会理事)

総務常任委員会、北方領土対策特別委員会の両方で、私は理事を務めています。自民党会派からの質問通告の交通整理や他会派との調整など、円滑な委員会運営に汗をかいています。



### わたなべ靖司のプロフィール

●昭和31年3月5日生まれ、A型 ●札幌市立北園小学校、明園中学校、札幌光星高校卒業、東海大学(中退) ●株式会社 丸信ワタナベ代表取締役  
【北海道議会】議会運営委員、総務常任委員会理事、北方領土対策特別委員会理事【自民党道連】組織委員会副委員長、総務会常任総務、政務調査会委員、選挙対策副委員長【資格】宅地建物取引士、大型2種自動車免許【公職歴】●札幌青年会議所 副理事長 ●日本青年会議所 北海道地区協議会 運営専務 ●北海道私立幼稚園PTA連合会 会長 ●北園小学校PTA会長 ●東区PTA連合会 副会長 ●北海道神宮第28北栄祭典区 代表委員長 ●札幌市東消防団 北栄分団 分団長【現職】●東区北栄連合町内会 顧問 ●北栄東町内会 副会長 ●札幌村郷土記念館保存会 相談役 ●札幌市東区少年軟式野球連盟 顧問 ●日本犬ぞり連盟 特別顧問

# 林業、ワイン…etc 北海道活性化の鍵となる現場を視察

本年7月21日、北海道活性化の鍵を握る「最前線」を自民党会派の同僚議員とともに視察しました。「道総研林業試験場」(美幌市)では、スマート林業や二酸化炭素の吸収能力に優れ成長が早い「クリーンラーチ」の品種改良の研究現場を視察。私が特に力を入れている政策課題の一つである、豊かで活力ある「森林づくり」を通じた「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて意見交換しました。日本最大規模のブドウ畑(総面積447ha)を有する「鶴沼ワイナリー」(浦臼町)では、「スマートガイドシステム」による最新の栽培管理システムについて調査しました。



道総研林業試験場でクリーンラーチの研究現場を視察



浦臼町鶴沼ワイナリーを訪問しスマート農業の取り組みを視察



## 令和4年第2回定例会(令和4年6月21日)

## 一般質問【要約版】

### 丘珠空港の利活用について

**わたなべ** 丘珠空港は札幌都心から約6キロで利便性が高い空港だが、認知度は決して高いとは言えず、地元から問題視する声も上がっている。利活用の一層の推進には、丘珠空港の利用者を増やす必要があり、そのためには積極的なPRによる認知度向上が不可欠。道として、今後どのように対応するのか伺う。

**鈴木知事** 札幌市や空港ビル会社、航空会社ではイベント開催やSNSを活用した情報発信、就航路線や就航先に関するPRなど認知度向上に努めてきた。道としても、市町村等の取り組みを支援する道内航空需要回復支援事業などにより、札幌市と緊密に連携しながら丘珠空港の航空需要回復とともに、認知度向上にも取り組んでまいり。

### 〈その他の質問〉

- 北森カレッジの人材育成
- 森林吸収源対策
- GIGAスクール構想
- 外国人材確保支援
- ものづくり産業振興



## 総務常任委員会

### 大雪による災害検証について(令和4年6月7日)

**わたなべ** 本年2月の札幌市と近隣地域の大雪は、JR北海道の長期間にわたる運休や道路の除排雪など多大な影響を及ぼした。大雪だけでなく、大雨や土砂災害による交通障害でも同様のことが起きかねず、これにより生活が寸断されてはならない。道や市町村、JRなどの関係機関が災害に対する意識を一つにして対応する必要がある。道として、今後どのように取り組んでいくのか。

**危機管理監** 大雪時の対応策についての報告書案では、線路の除排雪についてJR北海道に外部からの応援受け入れ体制が整備されていなかったことをはじめ、関係機関の連携や情報共有の不足などの課題



が、道民生活や物流に大きな影響を与える原因になった。今後の対応策として、雪害発生時にはWeb会議やリエゾン派遣などにより、関係機関と継続的に情報共有しながら対応にあたるなど、組織的な活動体制を強化していく。

**わたなべ** 安全安心な冬の暮らしの確保に向け、しっかりと関係機関と連携して取り組んでいただくことを指摘する。

### 〈その他の主な質問項目〉

- 通学路の安全確保について
- 指定管理者制度について
- 江差高等看護学院の職員処分等について
- 国の日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による被害想定公表について
- 土地信託事業について

## 北海道をデジタル化の先進地に!

## デジタル人材育成の加速を



北海道は、政府が進める「デジタル田園都市国家構想」実現のけん引役となる豊かな潜在力を有しています。その可能性を花開かせるために、鈴木直道知事が提唱する本道と本州を結ぶ高速大容量の海底ケーブルの整備、データセンターの誘致などのインフラ整備と同時に、私が力を入れているGIGAスクール構想をはじめとするICT環境の整備を進め、デジタル人材を育成することが重要です。デジタル人材の育成は、北海道の新時代を切り拓く「スマート農林水産業」や「遠隔医療」などの実現にとっても欠かせませんが、北海道が日本のデジタル化を担い、新たな時代を切り拓くため、道、そして国の背中を力強く押し上げてまいります。

